

(様式 1-3)

南相馬市 帰還環境整備事業計画 帰還環境整備事業等個票

平成30年7月時点

※本様式は1-2に記載した事業ごとに記載してください。

NO.	76	事業名	石神第二小学校プール改築事業	事業番号	(1) - 15 - 14
交付団体	南相馬市		事業実施主体(直接/間接)	南相馬市	
総交付対象事業費	6,494(千円)		全体事業費	205,000(千円)	
帰還環境整備に関する目標					
原子力災害により、当市の安全・安心な住環境の魅力は著しく低下しており、放射能不安により子供の安全を危惧する保護者の中には帰還を躊躇する方もいる。結果、子育て世代の人口は回復せず、地域の人口は減少し、地域のつながりや、人との交流も希薄となることが危惧される。 このような中、学校は教育に欠かせない重要施設であるとともに、地域の防災施設、コミュニティ施設としても重要な役割を担っている。原町区内の義務教育施設である石神第二小学校は、原子力災害の影響による避難を余儀なくされ、避難指示区域から区域外修学している児童生徒を含め、7年を過ぎた現在でも次のように生徒数が震災前の状況まで回復できていない。 ○石神第二小学校 平成22年度 486人 → 平成30年度 270人(約55%) 本事業で、プールの改築を行うことは、教育施設機能を向上させ、衛生的な教育環境を提供し、学校としての魅力を高めるとともに、防災機能も併せて高めることとなる。地域に密着した教育施設の機能及び魅力を向上させることにより、児童生徒や保護者及びこれからの子育て世代に安心安全感を醸成し、もって地域への住民の帰還、再生加速化を図る。					
事業概要					
石神第二小学校プール改築工事 ・屋外プール改築 (25m×6コース・小プール)、プールサイド等 ・A=375㎡、プール附属建物≒90㎡、既存プール解体 【南相馬市復興総合計画 基本指針5 自ら学び、自ら考え、生きぬく力を育むまちづくり】 P124 基本施策(1) 学校教育の充実・整備 施策③ 安全・安心な教育環境を創ります					
当面の事業概要					
<平成30年度> 石神第二小学校プール改築工事实施設計) <平成31年度> 石神第二小学校プール改築工事					
地域の帰還環境整備との関係					
教育環境を改善することによって、保護者が安心して子供を学校に通わせることができ、子供たちも安心で快適な学校生活を送る条件が整う。このような地域に密着した教育環境の改善は、地域の帰還環境の重要な要素であり、避難住民に対し帰還に向けた条件の改善を確認してもらうことができる。					
関連する事業の概要					

※効果促進事業等である場合には以下の欄を記載。

関連する基幹事業	
事業番号	
事業名	
交付団体	
基幹事業との関連性	